

8-4-15 海岸・海洋専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

海洋分野の新たな市場開拓を主な目的として沿岸域の総合的な管理等に関わる情報収集、情報交換等の委員会を8回(4月、5月、6月、7月、8月、10月、11月、1月)開催した。

(2) 現地視察・意見交換会の開催

沿岸環境に配慮しセットバックを含めた海岸保全方策を適用した事例として沖縄県嘉陽海岸等を現地視察し、今後の海岸保全のあり方について議論した。

防護、環境、利用の調和のとれた海岸の実現には地元や関係者、専門家を含めた取組が重要であること等について、意見交換が行われた。

【実施日】2023年9月29日(金)

【現地視察】沖縄県 嘉陽海岸、東江海岸、宮城海岸

【参加者】

- ・高知工科大学システム工学群 佐藤 慎司 教授
- ・琉球大学工学部 社会基盤デザインコース 水圏工学研究室 仲座 栄三 教授
- ・沖縄県北部土木事務所 河川海岸班 瀬底 班長、大城 主任技師、外間 技師
- ・海岸・海洋専門委員会委員 10名
- ・公募参加者 2名

(3) 海岸・海洋セミナー(第15回)の開催

気候変動に関連して海岸行政が大きな転換期を迎える中、これからの海岸保全のあり方について考え、建設コンサルタント業務の拡大と役割について議論することを目的としてセミナーを実施した。

a) テーマ: 環境や利用に配慮したこれからの海岸保全について考える

～気候変動等への適応に向けて～

b) 日時: 2023年12月19日(火) 13:00～17:00

c) 場所: 建設コンサルタンツ協会(対面・Web)

d) 参加者数: 約200名

e) 講演概要

【講演1】

「沖縄県嘉陽海岸ほか現地視察及び意見交換会開催報告」

海岸・海洋専門委員会 委員 山部 道

【講演2】「環境や利用に配慮した海岸保全について ～沖縄県の歴史と事例を中心として～」
琉球大学 工学部 教授 仲座 栄三

【講演3】

「美しく生き生きとした海岸を安全に ～民活×黒船×生成 AI～」高知工科大学 システム工学群 教授 佐藤 慎司

【全体討議】

上記の講演者と国土技術政策総合研究所 河川研究部海岸研究室 室長 加藤 史訓氏による全体討議を実施し、気候変動の影響下における海岸保全のあり方について講師の方から多くの意見を頂いた。

講演・全体討議で得られた知見に加え、沖縄の歴史、最新の AI 技術や人口減少などの社会的な問題にも言及したセミナーを開催することができた。また、新しい試みとして若手技術者による海岸事業の計画/設計事例について2例の報告を行った。

(4) RCCM 自主学習教材の改訂について

RCCM 自主学習教材に関し、「河川、砂防及び海岸・海洋」の講義の一部資料の改訂を行った。

2. 次年度の活動について

これまでの活動内容を踏まえ、以下の活動を継続的に行う予定である。

- ・沿岸域の総合的な管理に関わる情報収集と検討課題の把握
- ・海岸の現地視察と意見交換会
- ・令和6年度海岸・海洋セミナーの開催による技術情報の発信

(海岸・海洋専門委員会委員長 神保 正暢)